

# Route Press 21st.

## 道 21世紀新聞

発行所：内閣府認証 特定非営利活動法人 人と道研究会  
東京都港区虎ノ門4-1-1 虎ノ門パストラル内  
Web http://www.route-press21st.jp



岩手・宮城内陸地震で山全体が崩落した宮城県栗原市の現場

6月14日午後2時57分、毎日新聞社へりから撮影

# 防災機能強める「道の駅」

6月14日、岩手・宮城内陸地震(M7.2)が発生。中国・四川大地震と似た中山間地の災害だ。土石流や土砂崩れで、地盤が崩壊し道路を寸断、多くの集落が孤立した。せき止め湖出現や決壊、大規模な崖崩れは自然を破壊し地球環境にも影響する。7月の洞爺湖サミットの焦点は気候変動による温暖化対策。洞爺湖も8年前、有珠山が大噴火した。国民を守るために最も大事な「治山治水」。今こそ国土形成、国土保全の重要性を再認識する必要がある。

### 旅行者の利便から 地域支援の役割も

アジアモンスーン地帯 北の全道の駅は、道路被災あり、大洋プレート 害状況や規制、広域道路が沈み込む大陸縁辺の急 情報を掲示している。峻な弓形の列島・日本。 道路利用者が「道の駅」と火山、台風による「駅」に求める役割も変わ洪水は宿命だ。半面、南 ってきた。04年10月の新北に長い国土と温暖な気 瀧中越地震(M6.候、梅雨や台風による豊 8)では、道の駅が防炎かな水は、美しい自然と 拠点としての機能を発恵みをもたらすし、命を育 揮、脚光を浴びた。地震む。わが国はこの自然条 直後から小千谷市や川口件と折り合い、時に闘 町など6つの「道の駅」い、居住域を広げてき が被災者の避難場所や支た。営々と積み重ねた近 援施設として利用され現代の土木技術は、世界 た。

一方、四川大地震はじ 十日町の「クロス10め岩手・宮城内陸地震な い、駐車場に仮設住宅をど自然の驚異は人々の予 建設。新潟市の「豊菜」想を上回り、自然災害に には被災地情報を入力す対する国土の弱さも露呈 する人々が集まった。川口した。生活を守るため自 町の「越後川口」は避難然と対峙、あるいは協調 場所を活用され「ちぢみし、風土や景観と調和し の里おぢや」など、温泉た対策を講じる必要性が 施設がある道の駅は、温浮き彫りになった。 泉を無料で開放した。被災地に近い道の駅 道の駅は普及当初、駐「路田里はなやま」や「厳 車場、トイレ、公衆電話美溪」は防災拠点機能を など24時間利用できる利發揮。自衛隊や警察など 便性が目標だった。今は救援部隊に、駐車場やレ 各地で施設が充実。07年ストランを開放して支援 4月、東京で初の「八王子、おにぎりも提供。東 子滝山」が出来て全道

## トイレ、発電、情報発信…災害時の味方に

府県に道の駅が揃い、登録は880駅になる。 富山県高岡市に4月、「防災」の役割を担う道の駅「万葉の里 高岡」がオープン。非常用発電装置や消雪用井戸水の「濾過(ろか)装置」、断水でも利用可能なトイレなど「防災機能」を備え地域の期待を集める。 栃木県藤岡町の国道50号沿いにも防災拠点機能を備えた道の駅「みかも」が完成。トイレ、非常用発電装置、情報発信、貯水池、多目的スペースなどを整備して心強い。 自治体には住民への災害支援体制はあるが、旅行者は災害時どうしていいかわからない。でも道の駅に行けば情報がある」と知れば安心だ。被災時の支援拠点として、道の駅に寄せる旅行者の期待は、本紙「読者の声」やアンケート結果にもはっきり出ている。 旅行者もまた地域の防災拠点として「道の駅」を活用する。道の駅の新たな役割である。これからは緊急医療情報、医療施設の併設、情報発信基地の機能など「道の駅」の充実を考える時だ。

締めよう後部座席シートベルト!

### 第18号 INDEX

1~3	特集「防災」と「道の駅」
4/5	日本風景街道一輝く人たち
6	シンポジウム「ユニバーサル社会を目指して」
7	新しい道の駅の登録
8/9	特集「観光道先案内人」
10	国土学事始め なるほどロード
11	話題の道の駅「人と道」考えるアンケ
12/13	グリーンツーリズム 民宿のおかあさん
14	読者の声 おもしろ万葉集
15	クイズ・プレゼント